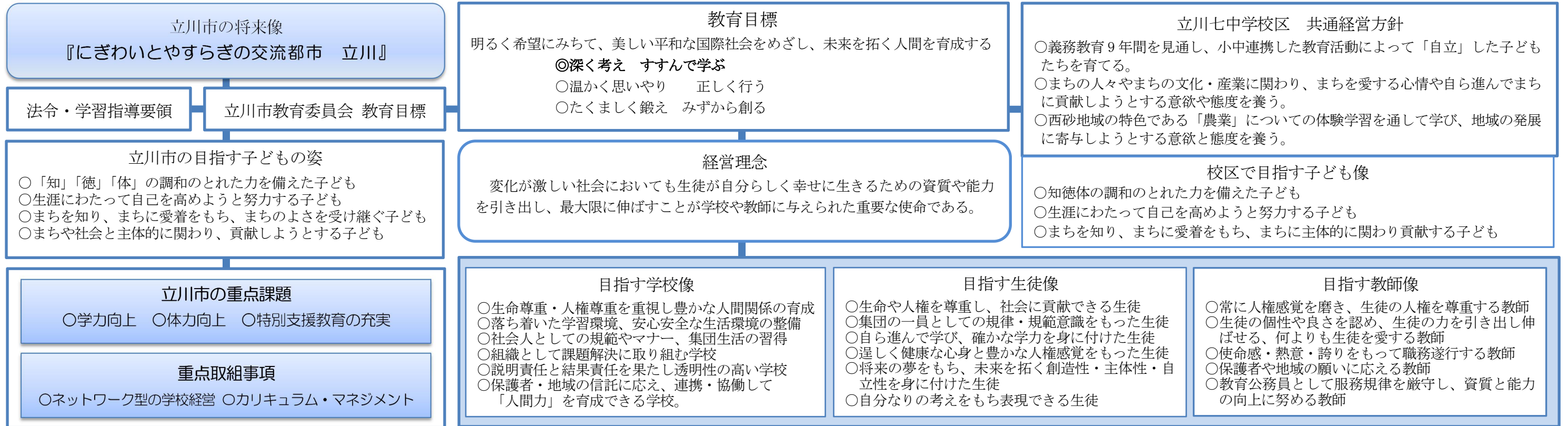


平成31年度 立川市立立川第七中学校 学校経営計画（概要版）

校長 大神田佳明



教育活動の重点目標と方策（平成31年度） 創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

<p>【確かな学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着 「指導計画」「評価計画」の改善と「評価説明資料」の作成。「分かる授業」「工夫の見える授業」による授業改善 少人数・習熟度別指導の実施（数学・英語） ○カリキュラム・マネジメント 「指導と評価の一体化」資質・能力 ○思考力・判断力・表現力等の育成 単元（題材）のまとまりの中で育成 ○学習習慣の定着 家庭学習の定着（60%） ○「見通しと振り返り」のある授業 授業の目標と授業の流れを明確に提示し身に付いた力が実感できる授業 「七中授業スタンダード」の目標（85%） ○学習機会の拡充と補習 「水曜補習教室」「夏季補習」「学問所」「スタディーアシスト事業」（都） ○ICTの活用（タブレットPC、デジタル教科書） ICT機器の活用（全教科で有効に活用） 	<p>【豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権感覚・人権意識の向上 人権教育に取り組み、偏見や差別、暴力をなくし自他の生命を尊重する教育の推進 人権課題「子供」「女性」「障害者」等の取組と「命の授業」の実施 ○自己肯定感・自己有用感の育成 授業、領域、行事、学級指導等全ての教育活動で育む（意識調査75%以上） ○信頼関係に基づく生徒指導 生徒の多様性と向き合った生徒指導 実践的な自己指導力の育成 ○道徳教育「特別の教科道徳」の充実 議論・思考を取り入れた授業改善 道徳授業地区公開講座の開催（5月） 「いじめを許さない学校づくり」弁護士を活用した授業・2学年（11月） ○基本的生活習慣と学習環境 授業規律・生活規律の確立 人権教育の視点に立った教室環境づくり 	<p>【安全で安心な学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災教育の推進 「自助」力の育成を目指した防災訓練の実施、「東京防災」を活用した防災学習 ○事故やけがの対応 学校管理下の事故やけがへの対応 AED・エピペンの実技研修の実施（8月） ○いじめの撲滅 「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ対策委員会の組織的な対応→未然防止 スクールカウンセラーによる面談 ふれあい月間の取組、朝礼講話等 ○家庭・地域・関係機関との連携 家庭での基本的生活習慣の確立 西砂町青少年健や子ども家庭支援センター ○普通救命講習2学年（10月） ○薬物乱用防止教室の実施（5月） ○セーフティ教室の実施（9月） SNSルール、ネット社会への対応 	<p>【特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校との連携と情報の共有 「個別支援計画」「個別指導計画」作成 ○特別支援校内委員会の充実（隔週で実施） ○特別支援教育のユニバーサルデザインを視点とした教室環境整備（普通教室） ○特別支援研修会の実施 臨床心理士等専門的な講師から特別支援教育について研修を深める（8月） ○教育支援課、通級学級、適応指導教室との連携 教育相談の巡回相談の活用 	<p>【心身ともに逞しい生徒の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力・運動能力の向上 体力テストの結果を活用して体育の授業で体力、運動能力を育む。今年度は、「瞬発力」と「ボール投げ」（目標：都平均） ○健康な体づくり 家庭と連携した基本的生活習慣の確立 ○オリンピック・パラリンピック教育の推進 4テーマ「精神」「スポーツ」「文化」「環境」 基礎的な知識・技能の習得（アクション）
<p>【生徒のための学校】を目指す使命感をもった教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業力の向上を目指し研修に取り組む（今年度は全員参加型の校内研修・研究授業、研究協議会） ○服務事故ゼロを目指して「学校コンプライアンスの確立」コンプライアンスリーダーを中心にしたボトムアップ ○組織の活性化と主幹教諭、主任教諭によるミドルマネジメント、補佐機能の充実（経営会議、運営委員会） ○危機管理体制の構築と組織的な課題解決力の向上（管理職・教員相互の「報告・連絡・相談」の徹底） 		<p>【ネットワーク型の学校経営】～まちづくりは人づくり、人づくりは未来づくり、未来づくりは学校から～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティースクール（地域運営学校）の設立 学校運営協議会と地域学校協働本部の設置 学校支援コーディネーターを活用した「学校・家庭・地域」協働・連携（学習支援、授業支援、環境整備・美化、学校行事等への地域ボランティアの活用） ○地域の教育資源を活用（開拓と充実） 都立高校、企業等との連携（職場体験、農業体験、進路学習等） 		